

令和6年度「高志学」中3校外研修

- 1 期 日 令和6年5月16日（木）
- 2 場 所 福井駅西口周辺
- 3 参加生徒 86名
- 4 報 告

令和6年5月16日（木）に福井駅周辺において、「高志学」中3校外研修として、福井駅西口再開発に関する研修を実施しました。

午前の部の前半は、福井市企業局の会場をお借りし、福井市役所都市整備課の北尾友和氏から、福井の歴史、戦前戦後のまちづくり、新幹線開業に伴う再開発の現状や今後の課題などを伺いました。福井駅周辺の再開発というまちづくりの大きな転換期に臨むにあたり、ハード面を整備する行政、その支援を受けながらソフト面も充実させようとする民間企業、そして地域住民などが協働してまちづくりが進んでいく現状をわかりやすくご説明いただきました。「高志学」だけでなく、「論文基礎」でも福井の現状や課題と向き合う生徒たちには良い勉強になったようです。

午前の部の後半では、先行開業したA街区を訪れ、ホテルやフードコート、スポーツジムなどを見学し、新幹線開業2カ月の現状を現場の方から直接伺うことができました。

班ごとに地域の食堂などでの昼食をはさんだ午後の部では、現在の福井駅周辺がどのように変化したかを2005年当時の住宅地図と比較しながら実際に現地を訪れて確認しました。20年間の変化に驚くとともに、そのような変化がどうして起こったのかを考える良い機会となりました。最後に、西武福井店、トモキ靴店、福洋、マゴギャラリー、くるふ福井駅、ハピリンモール、まちづくり福井の7カ所に分かれ、新幹線開業前後の変化を肌で感じている店舗の方々にお話を伺いました。生徒たちは、福井駅周辺がにぎわっていた昭和の時代から現在に至る変化やその地域・店舗が現在抱えている課題などを知ることができ、これからの福井を考えるヒントを得ることができたようです。

